



テレビ番組「カンブリア宮殿」で、 ノンフレーム工法が取り上げられました！

テレビ東京系列の人気テレビ番組、「カンブリア宮殿」。

この番組は、作家の村上龍氏が経済人をゲストに迎え、ビジネスで成功するためのヒントを解き明かしていくという、ビジネスマンに人気の番組です。

何とこの番組の中で、「樹木を保全できる斜面防災工法」、ノンフレーム工法が取り上げられました！

11月29日の放送で特集されたのは、ノンフレーム工法を開発した、日鐵住金建材(株)。

番組内では同社が保有する、防災関連の様々な技術や製品が紹介されました。中でもノンフレーム工法は、今年6月の台風でがけ崩れを防ぎ、神社を守った事例が紹介されるなど、大きく取り上げられました。

その現場が右の写真ですが、無対策斜面の一部が崩壊した一方で、隣接するノンフレーム工法施工斜面は無事であったことがわかります。

なお、この現場は元々、平成19年の台風で神社本殿裏の斜面が高さ100m近くに渡って崩壊したのを受け、崩壊地周辺部の拡大崩壊防止としてノンフレーム工法が施工されたものです。今年6月のがけ崩れは、ノンフレーム工法が施工された、そのさらに外側の無対策斜面で発生しました。

もう1つ紹介された現場は、東京都港区にある高層マンション裏の斜面。マンション建築工事に当たり、敷地内斜面の崩壊防止としてノンフレーム工法が施工されたものです。

右写真はノンフレーム工法施工直後の状況ですが、番組では支圧板も自然植生に隠れ、ほとんど目につかなくなっている、現在の様子が紹介されました。

最近はこの事例のように、公共事業だけでなく民間建築工事など、市街地でもノンフレーム工法が施工され、人知れず斜面を守っている事例が増えてきています。

なお、番組をご覧になれなかった方、放送されなかった地域の方も、番組WEBサイト [<http://www.tv-tokyo.co.jp/cambria/>] から、番組未公開シーンを含むスタジオ収録が視聴できます。ぜひご覧下さい！



ノンフレーム工法が、斜面を守りました！



マンション建築工事における採用事例
(マンション建築前)

九州北部豪雨を受け、ノンフレーム工法 施工地の追跡調査を実施しました。

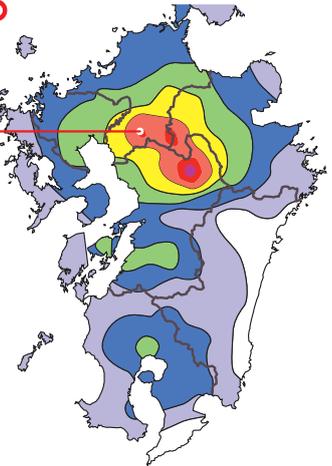
平成24年7月11日から14日にかけて発生した集中豪雨では、九州北部を中心に甚大な被害を被りました。中でも福岡県八女市の黒木観測所では、1時間最大雨量91.5mm、24時間雨量486mm、総雨量649mmを観測し、同市内ではがけ崩れ13件、土石流18件もの土砂災害が発生しました(国土交通省調べ)。

この災害を受けて、八女市内で過去にノンフレーム工法が施工された現場の追跡調査を実施しました。



調査地と観測所の位置関係

福岡県
八女市



期間降水量分布図
(気象庁 WEB サイトを元に作成)

① 八女市上陽町下横山地区 (施工時期：平成14～16年度 施工面積：約1,300㎡)



民家背後の斜面全体にノンフレーム工法が施工されています



ノンフレーム工法、施工斜面ともに変状はありませんでした

② 八女市北田形地区 (施工時期：平成14～16年度 施工面積：約1,900㎡)



写真の斜面全体にノンフレーム工法が施工されています
(一部は法枠工を施工)



ノンフレーム工法、施工斜面ともに変状はありませんでした

今回追跡調査を行った2地区とも黒木観測所に極めて近く、かなりの降雨量であったと想定されますが、いずれも斜面、ノンフレーム工法ともに変状は生じていないことが確認されました。

今回の災害でお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。